

# 総務文教常任委員会

H29. 11. 20 (月)

午前10時00分～

第3委員会室

## 1 開 議

## 2 案 件

### (1) 行政報告

○セーフコミュニティ・セーフスクールの事前審査について（総務部・教育部）

## 3 その他

### (1) 次回の日程について

## 地域再建被災者住宅等支援事業について

亀岡市では、平成 29 年台風第 21 号災害により、被災地域の再建を目的に、被災された方々の住宅再建支援の一環として、支援制度を設けております。

### ○地域再建被災者住宅等支援補助金制度

#### 1 対象となる方

亀岡市内の住宅に自ら居住し、平成 29 年台風第 21 号災害により被害を受けられた世帯主の方で、亀岡市内で住宅を建替、購入、補修、賃借して引き続き居住される方が対象です。

#### 2 補助対象となる経費

住宅再建経費：被災住宅の再建等（建替、購入、補修、賃借）経費 等

住宅再建関連経費：被災住宅の清掃費、家具、家電製品購入費 等

住宅再建融資返済経費：災害復興住宅融資（建替、購入、補修）を利用した場合の返済に要する経費

#### 3 補助金額

##### ア 住宅再建経費・住宅再建関連経費

次の算定式による補助金額を補助します。

##### <算定式>

補助金 = A + B（補助金額の上限を限度）

A：「住宅再建経費」× 1 / 3

A の額が 50 万円（賃借は 25 万円）未満の場合、50 万円（賃借は 25 万円）を上限に実費額。

B：「住宅再建関連経費」 5 万円を限度

##### <補助金額の上限>

		再 建 手 法		
		建替・購入	補 修	賃 借
被災区分	全 壊	300万円	200万円	150万円
	大規模半壊	250万円	150万円	100万円
	半 壊	150万円		—
	一部破損・床上浸水	50万円		—

申込・お問い合わせ先

亀岡市自治防災課 電話番号 0771-25-5097

#### イ 住宅再建融資返済経費

対象融資の貸付の実行日から5年以内の利息相当額を補助します。

##### <試算>

融資額:730万円、金利:年0.55%、返済期間:20年(元金据置緩期間なし)の場合

合計 約17万円(毎年度、当該年度分の利息相当額を交付します。)

千円未満切り捨て等の関係で、実際と異なる場合があります。

##### <対象融資> 独立行政法人住宅金融支援機構の災害復興住宅融資

対象工事	金利	融資限度額※1	返済期間※2	元金据置期間
建設	0.55% (H29.9.22現在)	1,650万円	木造(一般) 25年以内 耐火等 35年以内	3年以内 設定可能
購入			リ・ユースプラス住宅等 35年以内 リ・ユースプラス住宅等 25年以内	
補修		730万円	20年以内	1年以内 設定可能

※1: 災害復興住宅融資のうち、土地取得、整地、特例加算額に係る融資は対象となりません。

※2: 詳細は住宅金融支援機構の「災害復興住宅融資のご案内」をご覧ください。

住宅金融支援機構のお問い合わせ先・申込み関係書類の請求先

お客様コールセンター(災害専用ダイヤル) 0120-086-353

#### 4 補助申請にかかる必要書類

交付申請書や、り災証明書、支援対象経費の額を確認できるもの(住宅再建融資返済経費については災害復興住宅融資の利用に関して確認できるもの)等

詳しくは、亀岡市自治防災課(25-5097)までお問い合わせください。



# セーフコミュニティ セーフスクール

## 事前審査の実施について

総務部自治防災課セーフコミュニティ係長 岡田

## 審査員



チョ・ジュンピル (韓国)



パイ・ル (台湾)

## スケジュールの概要

11/27 月	11/28 火	11/29 水	11/30 木	12/1 金
概要説明 ↓ 岡田	対策委員会の発表 (市民ホール) ↓ 交通 ↓ 牧野副課長	セーフスクール (学校・保育所) ↓ 山下校長 猪子所長		

## 概要説明



## 取り組みに至った経緯

地域の絆の希薄化

さまざまな不安が地域社会に浸透

死亡原因の上位は不慮の事故や自殺

SC

人と人とのつながり・地域コミュニティの再生  
安全・安心のまちづくり

5

## 再認証後のあゆみ①

2013年

SC再認証取得(日本初)  
安全・安心まちづくりフェスタ  
セーフスクール取組宣言



2014年

市民安全・安心フォーラム  
篠町に「安全安心モニュメント」を設置

2015年

セーフスクール認証審査・認証取得  
セーフスクールシンポジウム

6

## 再認証後のあゆみ②

2016年

セーフコミュニティフォーラム  
セーフコミュニティアンケート調査

参  
画 消防団、PTA連絡協議会  
防犯協会、暴力追放協議会

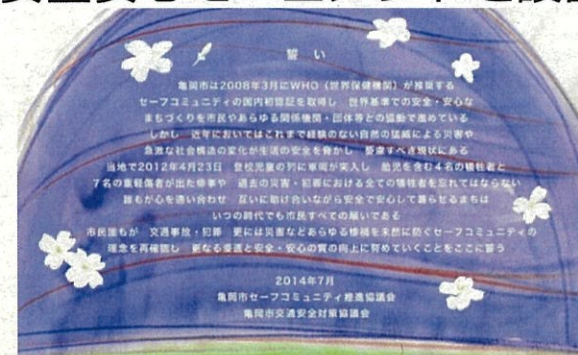
2017年

推進協議会の再編・強化  
対策委員会の再編・強化  
市民参加型プロジェクト開始  
・セーフティドライブプロジェクト  
・まち・レコプロジェクト



## 再認証後のあゆみ③

安全安心モニュメントを設置



① 2012年の通学路交通死亡事故を忘れない

② セーフコミュニティ発祥の地である篠町からSCの理念を発信し市民協働による安全安心なまちづくりを推進する

8



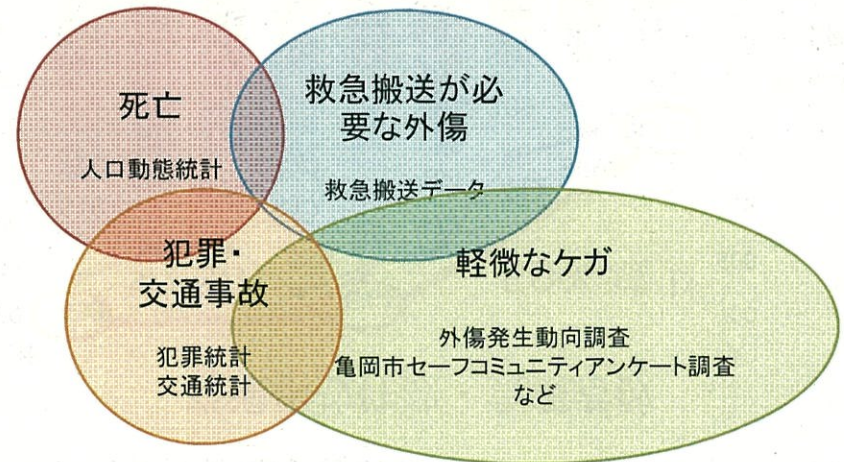
# SCに取り組んでいる16自治体で 最も高い評価を獲得

	体制	仕組	推進力	対策	継続性	合計
配点	16	11	2	7	10	49
平均点	11	7	2	5	4	28
亀岡市	13	9	1	7	8	38 <b>1位</b>

出典：2017「日本における安全なまちづくり『セーフコミュニティ』の10年間の実績に関する考察」  
 ※平均点は小数第一位を四捨五入 著者 白石陽子

## 亀岡市の安全に関する状況

### 亀岡市全体



## 亀岡市の安全に関する状況

多くの年代で死因の1位が「自殺」 ← 自殺対策

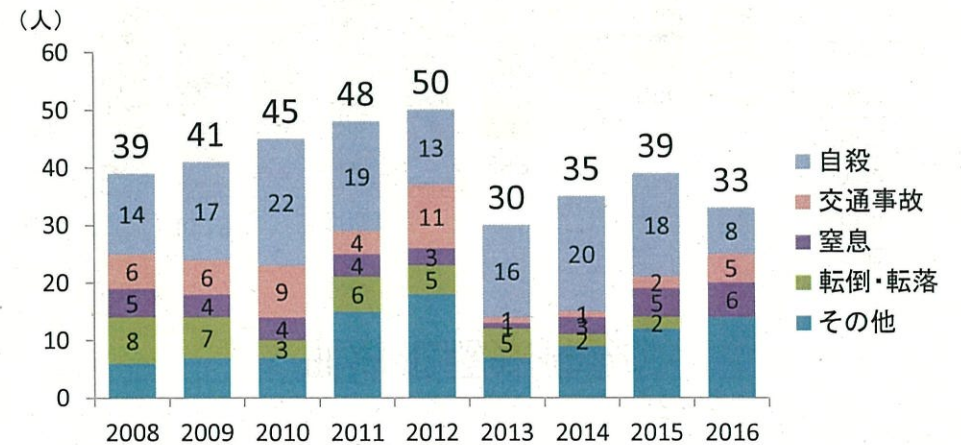
図表4 外傷による死因上位5位(2012~)

年齢層	1位(16)	2位	3位	4位	5位
0-9	交通事故	不慮の窒息			
10-19	自殺(2人)				
20-29	自殺(9人)	交通事故、不慮の溺水、火災			
30-39	自殺(11人)	交通事故、その他の不慮の事故、他殺			
40-49	自殺(16人)	中毒、その他の外因	不慮の窒息、火災、その他の不慮の事故		
50-59	自殺(10人)	交通事故、転倒・転落	不慮の窒息、その他の不慮の事故、その他の外因		
60-69	自殺(12人)	交通事故、その他の外因	その他の不慮の事故	不慮の窒息、他殺	
70-79	自殺(10人)	交通事故	その他の外因	転倒・転落、その他の不慮の事故	
80-89	その他の不慮の事故	その他の外因	不慮の窒息、自殺(5人)	転倒・転落	
90-	不慮の窒息	その他の外因	転倒・転落	交通事故	その他の不慮の事故

出典：人口動態統計(厚生労働省)

## 亀岡市の安全に関する状況

### 外傷による死者数の推移



初認証

再認証

出典：人口動態統計(厚生労働省)

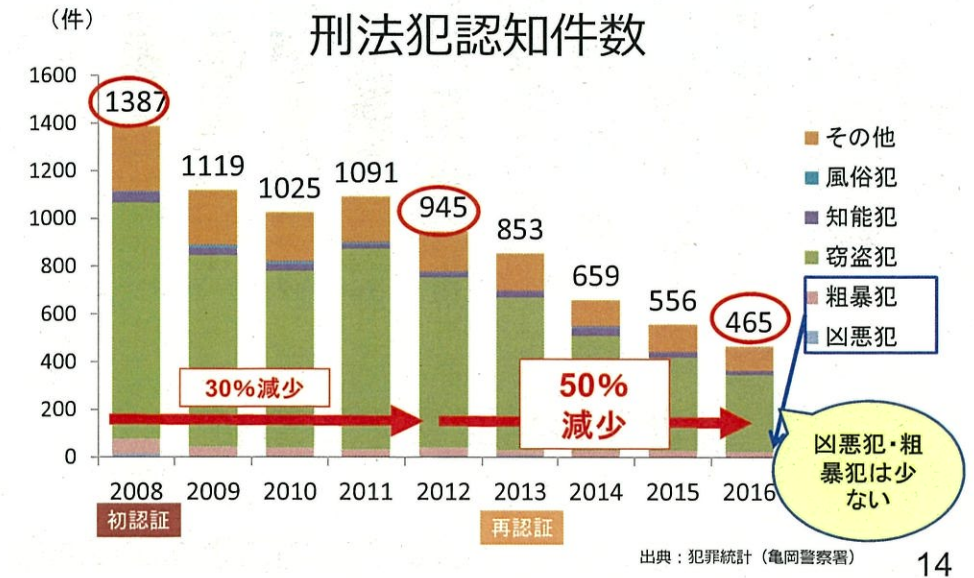


## 亀岡市の安全に関する状況



13

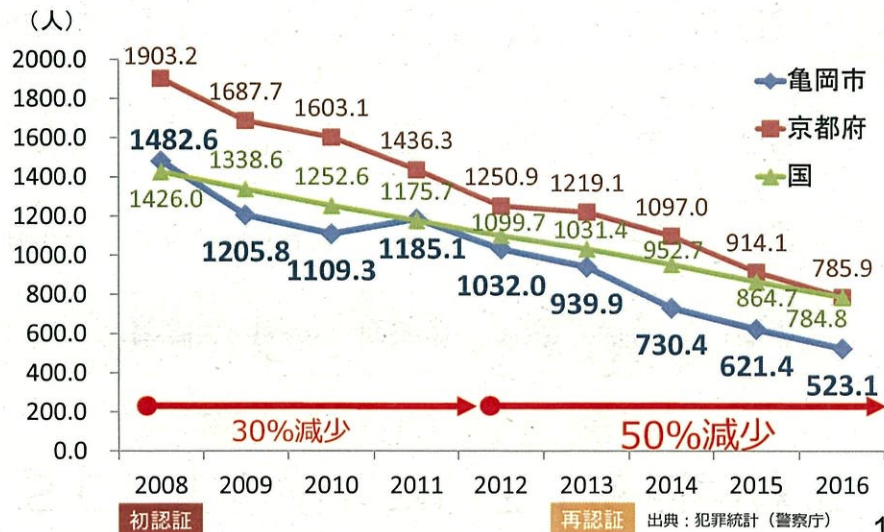
## 亀岡市の安全に関する状況



14

## 亀岡市の安全に関する状況

### 刑法犯罪発生率の推移（10万人あたり）



15

## 亀岡市の安全に関する状況

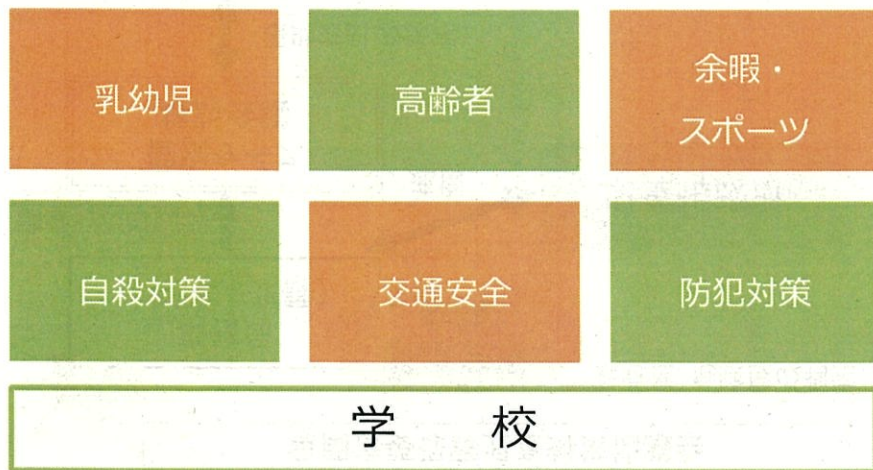
### 交通事故件数・負傷者数



16



## 重点課題



17



ガイドラインに沿った  
7指標に基づく活動

- 指標1 分野横断的な協働と連携に基づいた推進体制
- 指標2 両性、全年齢・環境・状況を網羅する長期的・持続的プログラム
- 指標3 ハイリスクの集団や環境、弱者の安全向上プログラム
- 指標4 入手可能なエビデンスに基づいたプログラム
- 指標5 傷害の頻度と原因を記録するプログラム
- 指標6 プログラムの内容・過程・変化による効果を評価する手法
- 指標7 国内外のネットワークへの継続的参加

18

### 指標1 セーフコミュニティの推進体制



19

### 指標2

### 全年齢・環境をカバーするプログラム

単位：事業

		子ども 0-14歳	青年 15-24歳	成人 25-64歳	高齢者 65歳～
不慮の事故	1 家庭	27	18	19	28
	2 学校	24	9	11	9
	3 職場・労働	3	7	9	7
	4 交通・公共	53	42	42	39
	5 余暇・スポーツ	7	7	8	12
意図的要因	6 自殺	5	8	8	8
	7 暴力・犯罪	35	24	18	20
8 災害		27	24	25	23

20



指標3

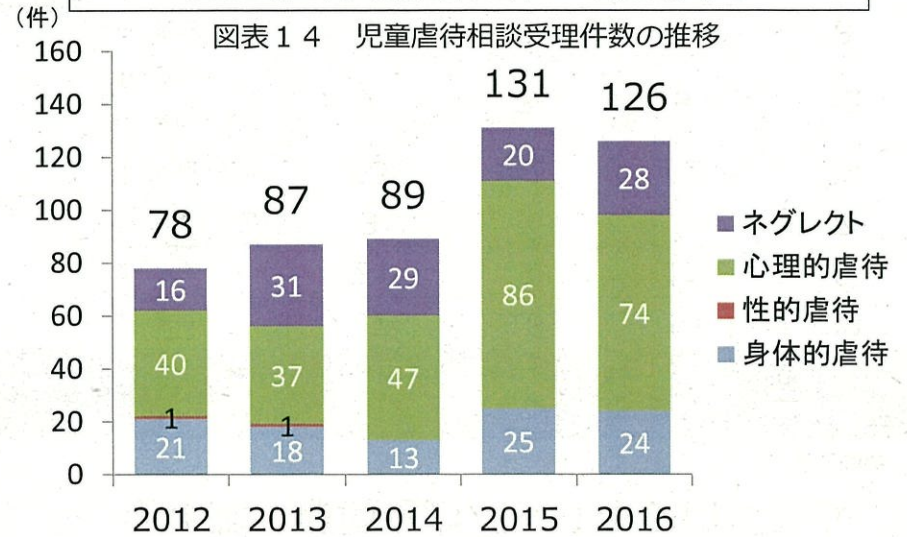
# ハイリスク

- ①虐待を受けているこども、高齢者、DV
- ②身体障害、精神的疾患、発達障害及び他の障害を有する人
- ③自然災害被害者
- ④外国人

指標3

## 児童虐待対応状況①

### 児童虐待相談件数は増加傾向

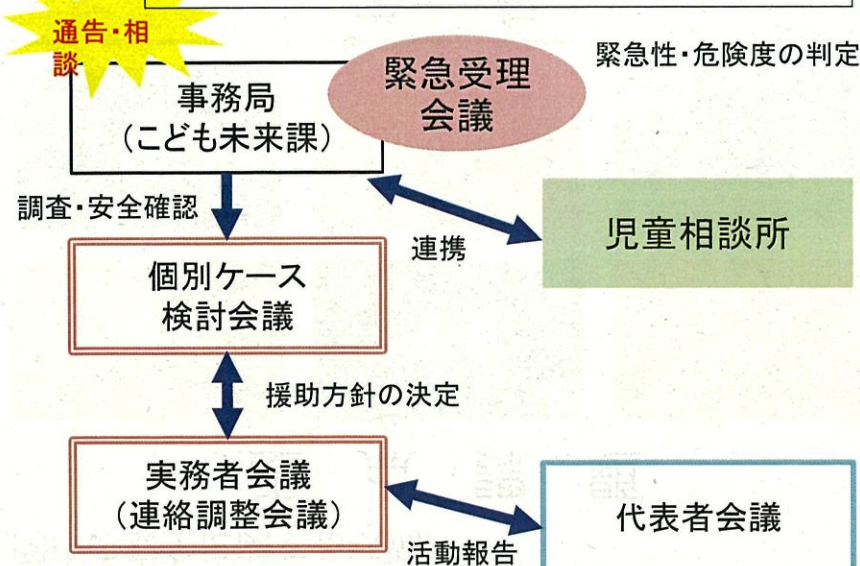


出典：亀岡市要保護児童対策協議会資料（亀岡市こども未来課）

指標3

## 児童虐待対応状況②

### 亀岡市要保護児童対策協議会



指標4

## 根拠に基づいた取り組み①

重点課題	選定理由
乳幼児の安全	外傷発生動向調査では4歳以下の外傷が多い
高齢者の安全	①2010年には高齢化率が20%を超え高齢化が進んでいる ②高齢者10万人あたりの負傷者数は年々増加している ③高齢者の71%が日常生活に対して不安を感じている
余暇・スポーツの安全	外傷の26%は余暇・スポーツ活動中に発生
自殺対策	外傷による死亡原因で最も多いのは自殺



指標4

根拠に基づいた取り組み②

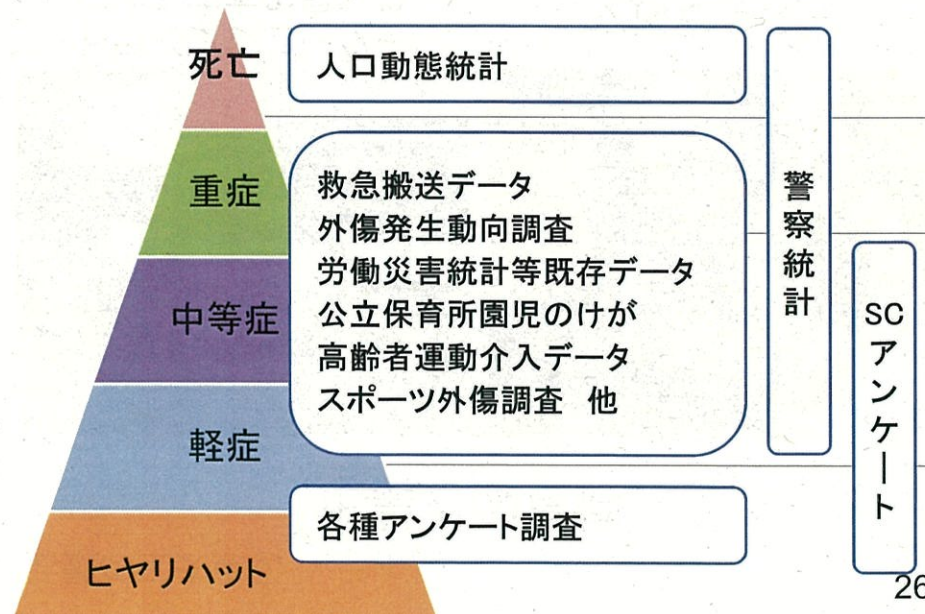
重点課題	選定理由
交通安全対策	①交通事故発生件数は、年間約500件以上、負傷者は約600人前後、死亡事故も毎年数件発生している ②救急搬送データによると、外傷の約50%が交通事故
防犯対策	①街頭犯罪認知件数は2009年までは減少傾向にあったが、2010年に増加に転じている ②街頭犯罪で最も多い自転車盗が2010年から急増
学校の安全	5-14歳、15-19歳は学校の活動中の受傷割合が高い

対策委員会・セーフスクールの取り組み

25

指標5

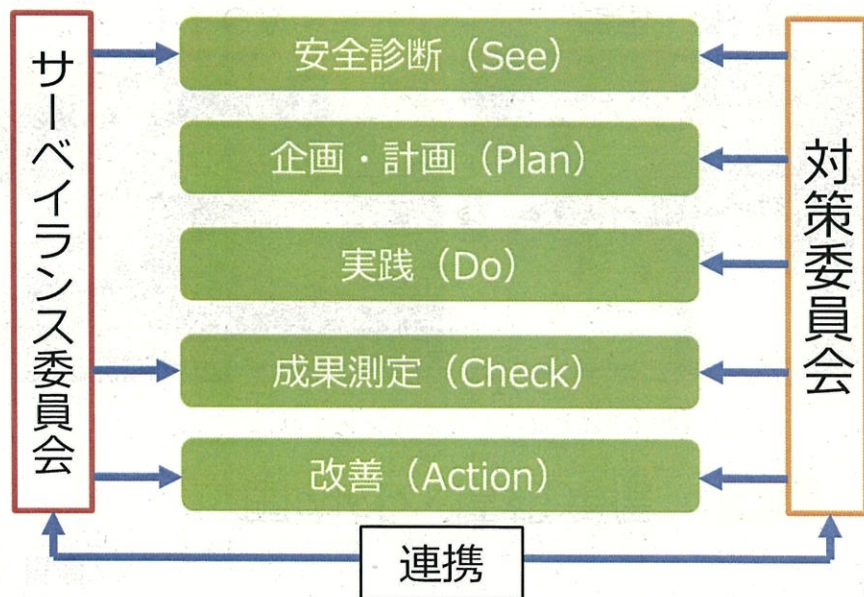
収集している外傷データ



26

指標6

プログラムの評価方法



27

指標7

国内外へ情報発信

国内



各地方議会



関西SC首長ネットワーク

28



# 国内外へ情報発信

国外



J I C A



韓国・済州島

## 活動の工夫点①

# 大学との連携

10大学20学部との連携



- (最近の事例)
- ・乳幼児事故予防パンフレット・ポスターの作成
- ・シンボルマーク審査
- ・モデル地区の防災マップ作成 等

インターンシップ・ギャップイヤーで参画した11人の学生が自治体職員に合格



## 活動の工夫点②

# 企業との連携



ニュースの配架



反射材コーナーの設置

## 活動の工夫点②

# 企業との連携



ドライブレコーダーによるまちの見守り協定



交通安全教室



### 活動の工夫点③

## 対策委員会の連携



交通安全対策委員会  
防犯対策委員会

同時期に進めていたプログラムを効果的に広報するため合同で進行

### 活動の工夫点④ セーフコミュニティニュース

#### セーフコミュニティ かもおか けがや事故を予防しよう Vol.23

セーフコミュニティとは  
セーフコミュニティ(SC)とは、WHO(世界保健機関)が提唱するけがや事故防止の先進的な取り組み。予防することができるといふ理念に基づいて、子供に重点を置き、地域全体が協働して安全安心なまちづくりを目指す。

#### 亀岡市ドライブレコーダーによるまちの見守り協定拡大 ドライブレコーダーが活躍しています

亀岡市内の企業などが事業活動の中で活用されているドライブレコーダーを「まちの見守りカメラ」として活用する「まちの見守りドライブレコーダー」によるまちの見守り協定を平成28年4月に締結しましたが、11月4日には新たに民間企業の協賛を受け、協定を拡大しました。

#### セーフコミュニティかもおか 正副委員長会議を初開催 対策委員会一丸となってセーフコミュニティを推進

11月15日に、第1回で、6つの対策委員会の正副委員長が集まり会議を行いました。セーフコミュニティかもおかの正副委員長会議は、10月28日に開催された第1回セーフコミュニティ推進検討委員会から連携委員会に名称が変更され、この機会に工夫した新たな取り組みが発表されました。これからは、対策委員会の連携を促しながら、セーフコミュニティ活動を推進していきます。

#### インターナショナルセーフスクール

安全で安心な学校・保育所・保育園づくり  
セーフスクールとは  
作とのけがやその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全・安心な学校や保育所づくりを促す活動がインターナショナルセーフスクール(ISS)です。

#### ISSの取組を小・中学校で共有します

6月30日、教育研究所でISS研修が開催されました。ISSの取り組みは、豊能小学校が亀岡市内の小中学校を代表して実施しています。ISS研修では、その取組を広げることを目的として開催されました。

#### 安全な自転車運転を身に付けよう！

豊能小学校では、ISS取組開始時から4年生時に自転車運転免許取得講習会を開催しています。今年も7月13日に、講習会を開催して4年生が自転車運転免許や地域交通安全活動推進委員の指導のもと、自転車運転免許取得のための試験を受けました。

### 活動の工夫点⑤ セーフコミュニティ応援隊

登録者 **54名**

[2017年9月5日時点]

(役割)

- ・セーフコミュニティ情報の発信
- ・イベントやボランティア参加 など



応援隊ステッカー

交通安全啓発  
ボランティア参加

### 活動の工夫点⑥ 新聞・テレビへのアピール



# セーフスクール

37

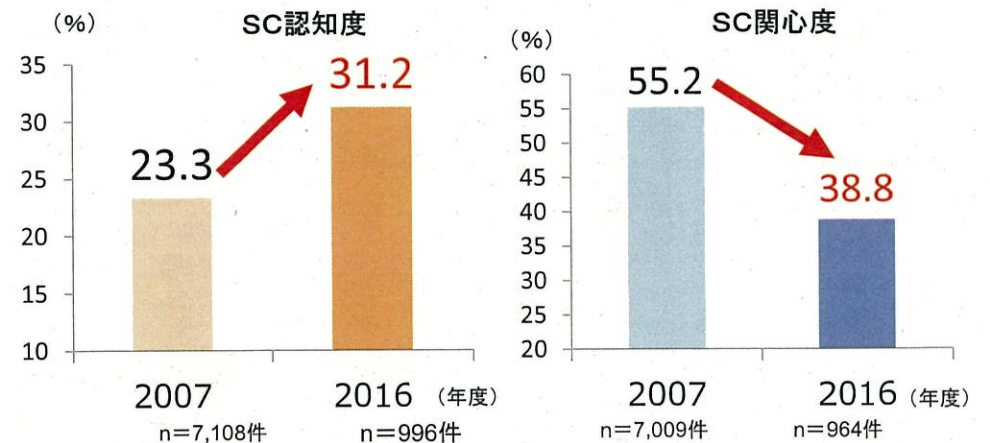
## SC・ISS全体の課題②

- セーフスクールの取り組み効果が他の小中学校に広まっていない
- 成果を分かりやすく「見える化」できていない
- 経済効果の検証が難しい

39

## SC・ISS全体の課題①

認知度は上昇したが、関心度は低下



出典: 亀岡市セーフコミュニティアンケート調査(亀岡市自治防災課)

38

## SC・ISSの今後の展望

### 取り組みについて

- 市民参加型の取り組みを展開する
- 「セーフコミュニティ応援隊」を増やす
- ISS認証校以外の学校が学ぶ機会を増やす

### 成果について

- SCニュース、市の広報紙やマスコミ等を通じて分かりやすく成果を伝える
- 経済効果の分析を進めて広報する

40